

中学校
お薦め10選



裏庭でのできごと

(A 自主、自律、自由と責任)



銀色のシャープペンシル

(D よりよく生きる喜び)



二通の手紙

(C 遵法精神、公德心)



一冊のノート

(C 家族愛、家庭生活の充実)



いつも一緒に

(B 友情、信頼)



日本とトルコの懸け橋となるー山田寅次郎ー

(C 国際理解、国際貢献)



加山さんの願い

(C 社会参画、公共の精神)



スダチの苗木

(C 家族愛、家庭生活の充実)



無人スタンド

(C 遵法精神、公德心)



二人の弟子

(D よりよく生きる喜び)

平成元年度以降に国・東京都から発行した「道徳読み物資料」対象

中学校

教材名「裏庭のできごと」

(A 自主、自律、自由と責任)

〔主題〕

誠実に行動することのよさ

議論に値する発問

自分が犯してしまった過失を謝ることのでられるよさには、どのようなことがあるのか。

学習活動の工夫

付箋一枚につき一つの考えをなるべく多く書く。四人数グループになり、付箋を画用紙に貼りながら順番に発表する。それと同時に、考えを深めるために質問し合ったり、共通理解を図ったりする。発表後は、考えの分類・整理をする。

「読み物資料とその利用」 文部省 平成3年

中学校

教材名「銀色のシャープペンシル」

(D よりよく生きる喜び)

〔主題〕

弱い心を克服して

議論に値する発問

人は、自らの弱さに負けたり、分かっているもできなかったりするときがある。「自分の心に向き合う」とはどのようなことなのだろうか。

学習活動の工夫

「言うべきだと自分を責める気持ち」と「黙っていようとする気持ち」のどちらに共感できるかを決め、どちらの立場なのか黒板に明確に示す。その後、異なる立場の友達とペアになり、なぜ共感したのか自分の考えを話し合う。

「読み物資料とその利用」 文部省 平成5年

中学校

教材名「二通の手紙」

(C 遵法精神、公德心)

〔主題〕

きまりを守ることの
意義とは

議論に値する発問



姉弟にとっても、元さんにとっても、動物園を
経営する側にとっても、それぞれの思いが叶う、
誰にとっても納得のできる規則は考えられるのか。

学習活動の工夫

ワークシートに記入後、四人グループで話し合う。
発言者の考えに賛成すること、補足すること、賛成
できないこと等について意見の交流を行う。

「私たちの道徳」 文部科学省 平成26年

中学校

教材名「二冊のノート」

(C 家族愛、家庭生活の充実)

〔主題〕

家族への敬愛

考えるに足る発問

「おばあちゃん、きれいになったね。」の言葉
には、どのような思いが込められているのだら
うか。

学習活動の工夫

おばあちゃんの横に並んで草取りをするまでの「ぼ
く」の気持ちの変容を押さえる。補助発問で、「何がき
れいになったのか。」を問い、ペアで話し合うことで、「ぼ
く」の思いに深く迫る。

「私たちの道徳」 文部科学省 平成26年

中学校

教材名「いつも一緒に」

(B 友情、信頼)

〔主題〕

友情を育てるために
必要なこと

議論に値する発問

「本当の友達」をつくる難しさはどこにあるの
だろうか。

学習活動の工夫

本当の友達とはどういうものだと思うか、自分の考え
を書く。その後、ペアになり、自分の考えを伝え合う。
友達の考えを聞き、自分の考えが変化したり、自分の考
えを深めたりしたことについて追加記入をする。

「読み物資料とその利用」 文部省 平成4年

中学校

教材名「日本とトルコの懸け橋となる
―山田寅次郎―」

(C 国際理解、国際貢献)

〔主題〕

世界の中の日本人として

考えるに足る発問

寅次郎が日本とトルコの懸け橋として活動し
たことについて、どのように考えるか。

学習活動の工夫

短冊に記入後、黒板に掲示する。
自分の考えの位置を確認するとともに、異なる考
えをもつ人との話し合いを通して考えを深める。

「心 みつめて」 東京都教育委員会 平成24年

中学校

教材名「加山さんの願い」
(C 社会参画、公共の精神)

〔主題〕

公共の福祉のために
行動すること

議論に値する発問

社会の一員として、周りの人と共によりよい社会を築くためには、どのような心構えが大切なのだろうか。

学習活動の工夫

これまで、「よりよい社会を築く」ことについて考えたことはあるか振り返る。その後、ワークシートに記入し、四人グループで意見交換をする。

「読み物資料とその利用」 文部省 平成6年

中学校

教材名「スタチの苗木」
(C 家族愛、家庭生活の充実)

〔主題〕

愛情の伝え方

議論に値する発問

家族に対して、素直に気持ちを表すことができないことがあるのは、どうしてなのだろうか。また、そのような自分とどのように向き合っていくとよいのだろうか。

学習活動の工夫

これまでの経験について四人で意見交換を行い、まとめた意見をグループの一人の生徒が他のグループへ紹介する。同時に、参加したグループで話し合った意見も聞き、元のグループに伝えることで考えを広め合う。

「読み物資料とその利用」 文部省 平成6年



中学校

教材名「無人スタンド」

(C 遵法精神、公德心)

〔主題〕

よりよい社会を目指すために

考えるに足る発問

いけないことはいけないと考える「わたし」と些細なことで近所と角を立てたくない「千葉さんの奥さん」の考えのどちらに共感できるか。

学習活動の工夫

自分の立場を決定し、黒板の共感メーターにネームプレートを貼る。その後、考えの異なる友達と、なぜ共感できるのかについて意見交換を行う。友達の意見から、自分の考えを深めたり、自分の考えが変わったりしたことについて確かめる。

「読み物資料とその利用」 文部省 平成6年

中学校

教材名「二人の弟子」

(D よりよく生きる喜び)

〔主題〕

自分と向き合う
ということ

考えるに足る発問

暗い夜の闇の中で、一輪の白百合を見た「智行の涙」の意味は何だったのだろうか。

学習活動の工夫

智行が涙した行為の根底にある理由、そして一輪の白百合が象徴していることについて考えさせ、ワークシートに書く。なぜ涙したのか、自分の考えをワークシートに書く。その後、人間のもつ弱さと気高く生きようとする事について、四人グループになって話し合う。

「私たちの道徳」 文部科学省 平成26年

